

ほっとeye通信

5号

平成24年9月 発行



医療法人
大塚眼科
Otsuka eye Clinic

今回は、開業以来勤務してきた3人のスタッフに登場してもらい、これまでの経験や感想を述べてもらいました。(院長)

～レベルの高い医療を目指して～

大塚眼科医院の看護師長の和田です。早いもので、大塚眼科医院に勤務して今年で23年目を迎えました。

開業当初は、外来の1日平均来院人数は約30人位で、手術は白内障手術のみを週1回3人程行っていました。その頃は、眼の中に入れる眼内レンズに保険適用がないという時代でした。今では考えられない状況です。

この20数年の間に、手術の方法も病気の治療法も少しずつ変わって行き、それに伴い手術機械の性能も良くなり、新薬が開発されて治療も大きく変わってきました。

当院はレベルの高い医療を提供するため、常に新しい医療技術を取り入れ、また全国の各専門分野の先生に手術や診察をして頂き、患者さまのためになる治療を行っています。

私事で恐縮ですが、長年必要以上に涙が出て困っていました。涙の専門医である岡山の杉本先生に涙道内視鏡で診て頂き、涙道にカテーテルを入れ、涙の症状が改善した1人です。

これからも患者さまの立場になって物事を考えて行きたいと思っております。

(和田 記)



和田

～22年間勤めて看護の立場で思うこと～

看護師で病棟主任の井上です。看護師の仕事は常に患者さまに寄り添い、患者さまの気持ちになって考え行動することがとても大切です。私は看護師の立場から患者さまに自分の病気について少しでも理解してもらい、治療を前向きに進めていけるように分かりやすい説明を心がけています。そのためには自分自身がまず病気や治療について、目のことだけではなく全身のことについてもよく理解しておく必要があります。

また何より大事なこととして患者さまを一人の人間として心のケアも常に念頭に置いて仕事をしています。

これからも自分自身も勉強して少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。(井上 記)



井上

～笑顔で優しく対応します～

受付・事務主任の米田です。開業当初は事務スタッフ3名からのスタートでしたが、現在は6名となり開業以来22年間、不安を抱えてこられる患者さまを温かく迎え、笑顔で見送れる事を誇りに日々頑張っています。

受付での患者さまとの対応は短い時間ですが、患者さまに顔を覚えてもらい、声をかけて頂けることが何よりの励みとなり、笑顔の源となっています。

また、医療制度も年々改正されています。最近では高齢者においては高額な支払いをしなくても良い制度もできています。医療費のことで不安な事がありましたら少しでも治療が受けやすくなる様に、お手伝いいたしますので気軽に声をかけてください。

これからも笑顔でたくさんの患者さまにお会いできることを願い、快適な待合室作りを心がけ、患者さまにとって優しい受付でありたいと思います。

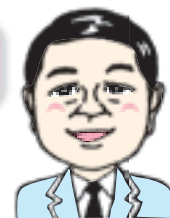
(米田 記)



米田

白内障について (その4)

白内障手術の症例について



大塚 慎一

前回、白内障術後の見え方には、遠方重視型、近方重視型、遠近型の3つのタイプがあり、遠近型には、多焦点眼内レンズを使う方法とモノビジョン法とがある、というお話をしました。今回は、具体的に白内障の各々の症例についてご紹介します。

【症例1】 61歳女性、職業：ピアノ教師 **【主訴】** 両眼の視力低下 **【現病歴】** 2年前より両眼が徐々に見えにくくなった。某眼科で白内障を指摘され手術を勧められた。白内障の手術希望にて当院初診。 **【初診時眼所見】** 遠方視力 右眼0.2 ($0.7 \times -4.0D$ (ジオプター)) [※裸眼視力が0.2、 $-4.0D$ (中等度近視) のメガネで矯正して0.7の意] 左眼0.2 ($0.8 \times -4.5D$) 近方70cm視力 右眼0.2 ($0.6 \times -2.0D$) 左眼0.2 ($0.8 \times -2.0D$) 両眼に中等度の水晶体混濁を認めた (写真1) 白内障術後の見え方に対する本人の希望は、①メガネなしで70cm先のピアノの楽譜を見たい ②メガネなしで車の運転をしたい、とのこと。

本人の希望を満たすためには、優位眼 (利き目) の左眼を $-0.5D$ (ごく軽い近視) 程度に、また非優位眼の右眼を $-1.0D$ の軽度近視になるよう (軽いモノビジョン法にしました)、眼内レンズの度数を設定して、白内障の手術を行いました。結果は以下の通りです。

遠方視力 右眼0.7 ($1.5 \times -1.25D$) 左眼1.2 ($1.5 \times -0.5D$) 近方70cm視力 右眼1.0 ($1.0 \times +0.25D$) 左眼1.0 ($1.0 \times +0.75D$)。両眼開放での遠方裸眼視力が術前は0.2でしたが、術後は1.2に改善しました。また両眼で近方70cm視力が術前は0.4でしたが、術後は1.0に改善しました。水晶体の濁りが取れ完全に水晶体は透明になり (写真2)、本人の希望通りの視力が得られました。

【症例2】 38歳男性 職業：宝石鑑定士 **【主訴】** 両眼の視力低下及び羞明 (まぶしさ) **【現病歴】** 1年前に両眼のまぶしさと見づらさのため別府医療センターを受診し、両眼のアトピー性白内障と診断を受けた (幼少時よりアトピー性皮膚炎があった)。白内障手術希望にて当院初診。 **【初診時眼所見】** 遠方視力 右眼0.6 (矯正不能) 左眼0.5 (矯正不能)。近方40cm視力 右眼0.4 (矯正不能) 左眼0.25 (矯正不能)。両眼にアトピーに特徴的な水晶体後囊下の混濁を認めた (写真3)。術後の見え方に対する本人の希望は、仕事柄近くはルーペで拡大して見るので、両眼とも遠くがよく見えるようにして欲しい。近くの文字などは老眼鏡 (遠視眼鏡) をかけても構わないとのこと。

本人の希望を満たすためには、遠方視力を正視 (近視でも遠視でもない) ねらいで眼内レンズの度数を設定し、白内障手術を行いました。結果は以下の通りです。

遠方視力 右眼1.5 ($1.5 \times -0.25D$) 左眼1.2 ($1.5 \times -0.25D$)
近方40cm視力 右眼0.4 ($1.0 \times +1.25D$) 左眼0.4 ($1.0 \times +1.25D$)。本人の希望通り、遠方視力は両眼にて1.5、近くは軽い遠視のメガネ ($+1.25D$) をかければ1.0とよく見えます。宝石の鑑定はルーペを使用すれば問題なくできるとのこと。水晶体の濁りも完全に取れ (写真4)、本人の希望通りの視力になりました。

症例1も症例2も乱視がほとんどなく比較的若い方でしたのでとても良い裸眼視力が出ました。逆に、乱視が強い人の場合の白内障手術はどうなるのか、次回お話ししたいと思います。

写真1



写真2

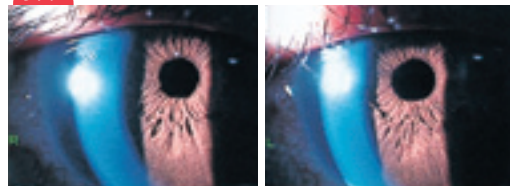


写真3

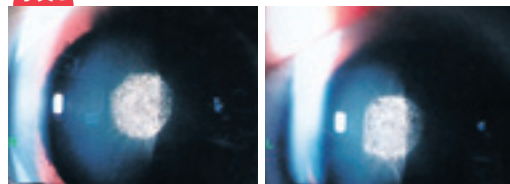
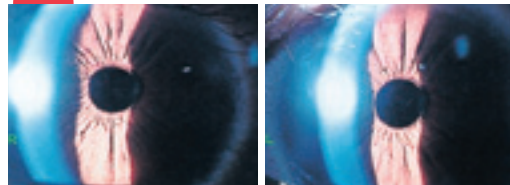


写真4



平成24年3月28日（水）第13回中津循環器糖尿病研究会において当院の副院長、野田が特別講演の講師に招かれ、発表しました。



〈本人のコメント〉

糖尿病療養指導士という資格を持つ内科の病院スタッフが主な参加者の会で、そこで糖尿病網膜症についてお話をさせていただきました。どのように糖尿病網膜症は失明に至るのか、なぜ光凝固（レーザー）が必要なのかということや新しい検査・治療についてわかりやすく説明できたと思います。場所は中津に新しくできた施設だったのですが、その施設にとっても最初のイベントということでした。ピカピカの新築の中、気持ちよく話ができて良かったです。

平成24年5月10日（木）九州保健福祉大学（視能訓練士を養成する視機能療学科）の特別講師として当院の視能訓練士、後藤が招かれ講演をしました。



〈本人のコメント〉

視能訓練士は眼科で特殊検査や訓練を行います。その養成校からの依頼理由は、目の解剖・疾患・検査法など別々に習った学生の知識を、臨床現場での考え方を通じて統合させてほしいとのことでした。最新の検査機器の画像を提示しながら話しをすると真剣な表情になる学生が印象的で、私自身も初心を忘れてはいけなかったと感じました。

平成24年 当院の学会参加一覧 〈5月～8月〉

5/20(日)	九州視機能研究会(鹿児島)	1名	8/4(土)	コンプトシンポジウム(大分)	5名
5/25(金)～5/27(日)	九州眼科学会(福岡)	1名	8/25(土)	ルセンティス3周年学術講演会(東京)	1名
6/23(土)	日本眼瞼瘻癰シンポジウム(東京)	2名	8/25(土)～26(日)	日本眼科医会 生涯教育講座(福岡)	5名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

8月	9月	10月	11月	12月
4日(土)	8日(土)	3日(水)～5日(金)	9日(金)	1日(土)
糖尿病網膜症外来	眼瞼手術	翼状片手術	硝子体手術	硝子体手術
東京大学 准教授 加藤先生	京都府立医科大学 渡辺先生	日本医科大学 教授 志和先生	(福岡)林眼科病院 副院長 吉村先生	(福岡)望月眼科医院 院長 望月先生
23日(木)	15日(土)	11日(木)	10日(土)	7日(金)
網膜専門外来	涙道内視鏡手術	白内障手術	緑内障専門外来	硝子体手術
東京女子医科大学 教授 飯田先生	(岡山)すぎもと眼科 院長 杉本先生	(東京)井上眼科病院 副院長 徳田先生	琉球大学 教授 澤口先生	京都府立医科大学 准教授 横井先生
	20日(木)	13日(土)	20日(土)	15日(木)
	硝子体手術	網膜専門外来	硝子体手術	硝子体手術
	(宮崎)浮之城眼科 院長 鳥井先生	東京女子医科大学 教授 飯田先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生	(福岡)林眼科病院 副院長 吉村先生
				8日(土)
				糖尿病網膜症外来
				東京大学 准教授 加藤先生
				24日(土)
				硝子体手術
				名古屋市立大学 教授 小椋先生
				22日(土)
				網膜専門外来
				東京女子医科大学 教授 飯田先生



杉本先生は日本涙道・涙液学会の理事で日本有数の涙道内視鏡エキスパートとしてご活躍されています。当院でも数ヶ月に1回のペースで涙道内視鏡を使った流涙症・涙囊炎の治療をお願いしています。いつも自然体で患者さんに優しく接して下さいますので安心感抜群です。涙が溜まってお困りの方、杉本先生の診察・治療をご希望の方は当院スタッフ・医師までご相談下さい。

スタッフ紹介

手術室

私たち手術室スタッフは現在8名で、患者さまが「見え出した」と喜ぶ笑顔をパワーに毎日頑張っています。

これからも患者さまがリラックスできるよう明るい雰囲気作りに努め、手術がスムーズに進むようお手伝いさせていただきます。



工藤

後藤

野崎

寺坂 吉武陽

平山

川野

橋本

診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:30	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田 第2木曜日のみ 大塚 中野	大塚 野田	大塚 野田
午後 14:00 ~ 18:00	中野	中野	中野	午後 休診	野田	午後 休診
手術日 (午後)	白内障	白内障	白内障	—	翼状片 眼瞼下垂 内反症	—

※受付時間は午前7:30 ~ 午後5:00までです。

※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。事前に電話にて御予約をお願い致します。

〈年末年始のお知らせ〉

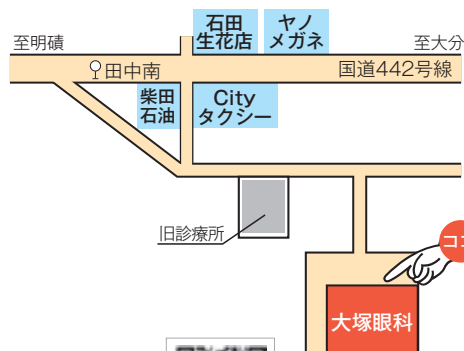
	12/26 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	31日 (月)	1/1 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)
午前	診察	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診察
午後	診察	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診察

※専門医による硝子体手術・緑内障手術・眼瞼手術・涙道手術は随時行っています。

ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

野田
(副院長)
井上
氏川
野崎
小野
植木
本幡

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

